

各位

コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長 伊井哲朗  
東京都千代田区平河町2-4-5

～ ザ・2020 ビジョン「第8期 コモンズ POINT（ポイント）（障がい者スポーツを応援するプログラム）」の応援先を（特）日本視覚障害者柔道連盟と（一社）日本知的障害者水泳連盟と決定致しました ～

このたび、コモンズ投信株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊井哲朗、以下「コモンズ投信」）は、当社の顧客、投資先、その他ステークホルダーと共に「今日よりも良い明日」をつくるという創業理念に基づくファンド「ザ・2020 ビジョン」の寄付のしくみ、コモンズ POINT（障がい者スポーツを応援するプログラム）の第8期（ファンドの決算に合わせて第8期としています）応援先を、第7期に引き続き（特）日本視覚障害者柔道連盟と（一社）日本知的障害者水泳連盟の2団体と決定致しましたので下記にお知らせいたします。



## 記

### 1. コモンズ POINT（障がい者スポーツ応援プログラム）について

当社運用ファンドであるザ・2020 ビジョンは、2020年を起点として日本が大きく変わる、その「変化」をファンドを通じて皆さんと共有していきたいとの思いから2014年に設定されました。障がい者スポーツに理解が深まれば、社会的なダイバーシティ（多様性）への理解が深まり、今後、世界の主要都市が高齢化する中で、日本が貢献できる分野も飛躍的に増えると考えています。そこで、当ファンドから当社が受け取る信託報酬の1%程度を日本の障がい者スポーツの団体を応援する独自の応援プログラムとして、コモンズ POINT を設けました。

※ファンドからの拠出ではありません。

\*\*\*\*\* POINT-ポイント-とは \*\*\*\*\*

<https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

ザ・2020 ビジョンの決算時に翌年度の応援先最終候補者を決定し、1年間広報活動などに協力します。

ザ・2020 ビジョンの当社が受け取る信託報酬の1%相当を寄付します。  
連続しての受賞も可能とします。

ファンド第2期～4期は日本視覚障害者柔道連盟、第5期～6期は日本知的障害者水泳連盟を、  
そして第7期は日本視覚障害者柔道連盟と日本知的障害者水泳連盟の2団体を応援先として寄  
付ならびに広報活動に協力等して参りました。

#### ○選定基準

- ・障がい者スポーツの振興に取り組み、日本のダイバーシティ推進に活躍が期待される個人及  
び団体。
- ・資金使途など、財務内容のディスクロージョーがしっかりとなされていること。

#### ○選定方法

1. 最終候補者を事務局となる当社で選出した後、「ザ・2020 ビジョン」の受益者及び当社社員が、  
自分が推薦したい候補団体を選び、理由と共に事務局に提出。
2. 外部審査員を含む最終選考委員会を開催し、受益者及び当社社員からの推薦理由も参考に  
応援先を決定しました。

\*\*\*\*\*

#### ○今回の選定経過

例年であれば応援先最終候補を3団体選定し選考を行いますが、次期、第8期（2021年1月～  
2021年12月）応援先については、第7期応援先である2団体の継続応援を決定させていただきました。

理由は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大によって、2020年夏に予定されていた東京  
パラリンピックが今年2021年に延期。そのような状況下にある選手、及び競技団体に対する支  
援についてコモンズ投信社内にて検討した結果、継続応援すべきとの意見でまとまりました。そ  
の意見を、受益者であるお仲間のみなさまにも事前にご賛同いただき、1月12日に開催しまし  
た外部審査員を含む最終選考委員会においても追認いただきました。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

第8期（2021年1月～12月）

#### ■応援先：

『日本視覚障害者柔道連盟』および『日本知的障害者水泳連盟』の2団体とする。

#### ■寄付金額：

2021年12月18日ファンド決算時に算出される金額を2等分し両団体に寄付する。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

#### ○最終選考委員会メンバー

【上段 右から】

- 田口垂希氏（日本郵船株式会社 広報グループ 社会貢献チーム・パラリンピアン）
- 馬越裕子（コモンズ投信株式会社 寄付のしくみ POINT 担当）
- 渋谷健（コモンズ投信株式会社 取締役会長）

【中段 右から】

- 小澤直氏（日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事）
- 青木高氏（公益社団法人 日本フィランソロピー協会 事務局長）
- 金子知史氏（日本財団パラリンピックサポートセンター）

【下段 右から】

- 伊井哲朗（コモンズ投信株式会社 代表取締役社長）
- 平田仁志（コモンズ投信株式会社 システム部 部長）



○今回の決定理由

コモンズ POINT 第7期では、2020年がいよいよ東京パラリンピック開催本番の年として、この寄付のしくみを設定して以来関係を築いてきた2団体の応援を決定しました。大舞台に立つ選手たち、そして競技活動を支える競技団体を、本番に向けてより一層応援していこうと決意しました。

しかし、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、東京パラリンピックは2021年に延期に。そんな中で、コモンズ投信社員の間では第8期POINTの応援先として、第7期応援先の継続応援で意見がまとまりました。

そして最終選考委員会でも、外部審査員のみなさま含め全員が「この困難な状況下で、継続以外の選択肢はない」として、2団体に対する継続応援が満場一致で承認されました。

第7期応援先決定時にも「大会後も見据えて、2団体の応援を行っていききたい」としていた通り、わたしたちコモンズ投信はどんな状況下でも挑戦を続ける障害者スポーツのチャレンジャーと、その活動を支える団体を引き続き応援していきます。

○第7期応援先（特）日本視覚障害者柔道連盟（一社）日本知的障害者水泳連盟/に対する寄付報告

2020年12月18日のザ・2020ビジョンの決算において、第7期の寄付金額は【470,000円】に決定しました。同金額を2等分し一団体につき【235,000円】を寄付しました。

第7期応援期間には広報活動の協力として、毎月発行するファンドの月次レポートにも活動の近況を掲載し、オンラインイベントを企画開催しました。

\* 月次レポート

<https://www.common30.jp/fund2020/reference.php>

\* 【オンライン】コモンズ投信の寄付のしくみ

～未来を信じる力～（2020年12月18日開催）

CommonsTV (youtube)にて現在もご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

<https://youtu.be/qVgLm3YqsRM>

ご視聴くださった方々からお寄せいただいた感想。

日本知的障害者水泳連盟へのメッセージ

「選手たちは真のアスリートだと感じました。」

日本視覚障害者柔道連盟へのメッセージ

「競技者の皆様へのリスペクトが伝わるお話、とても素晴らしかったです。」

○日本知的障害者水泳連盟に対する第6期コモンズPOINT寄付金は、「みんなの水泳の絵」絵画展の開催費用、動画作成などに使っていただきました。

詳しくは、以下ブログをご覧ください。

「みんなの水泳の絵2019 絵画展 @千葉」



前編

<https://park.common30.jp/2020/01/2019.html>

後編

<https://park.common30.jp/2020/02/2019.html>

みんなの水泳の絵2020 動画「わたしの思い、みんなへ届け」  
是非ご覧ください。

<https://youtu.be/UXK6vnMzYPO>



以上

お問い合わせ先：POINT担当 馬越裕子 (yuko.umagoe@commons30.jp)